

2016年12月31日発売号 掲載

Dr. 週刊新潮

ドクター

2017

良医の視点

透析治療

佐々木クリニック

**透析専門医でもある腎臓内科医が
患者さん一人ひとりを丁寧に診て
より苦痛の少ない、効率の良い
最適な透析治療の選択に力を注ぐ**



送迎車を2台用意。午前の透析患者さんを対象に、希望する人には送り迎えをしている。送迎車には、車椅子の患者さんのための昇降装置も取り付けられている



院内で血液検査を行うことができ、感染症や心不全などを早期に発見し対応している



腎臓内科・人工透析内科
佐々木クリニック

(アクセス) 大阪府大阪市鶴見区鶴見 4-6-27
(TEL) 06-6931-8820
<http://www.sasaki-cl.info/>
(診療時間) 月～木 10:00～11:00 / 13:00～16:00
(休診日) 金、土、日、祝
(診療時間) 月～土 9:00～14:30 / 14:30～22:20
※祝日も診療
(休診日) 日



**「不必要な透析はしない」を
モットーに診療を行う**

「透析治療について、知識のない医師が透析を行っているケースが少なくありません。セカンドオピニオンで来院された患者さんの中には、最初にうちに来ていただいたらよかったのという方がいらっしやいます。当院であれば、まだ透析をしなくても済んだのにと思うと残念でなりません。透析治療は、腎臓内科医であり、かつ透析専門医である医師に診てもらおうのほうがいいでしょう」と佐々木クリニックの佐々木公一院長はいう。

大阪大学医学部附属病院腎臓病研究室で腎臓病の増悪機序と、それを阻止する研究で「ベルツ賞」を受賞した佐々木榮喜医師が、1991年に腎臓内科・透析に特化したクリニックを大阪市鶴見区に開業した。後を引き継いだ子息の佐々木公一院長も、腎臓内科を中心とした総合内科専門医であり、腎臓専門医、透析専門医として地域医療に貢献している。

佐々木院長の診療のモットーは、「不必要な透析はしない」であり、透析をする場合は「より苦痛の少

ない、それでいて効率の良い適切な透析治療を行う」ことである。

透析治療にあたっては、患者さん一人ひとりに応じた治療を目指す。「患者さんの症状や状態などを診て、通常、週3回×4時間の透析を週2回にしたり、1回あたりの透析時間を5～6時間と長くしたりと、患者さんの負担が少なく、それでいて質が高く、より満足していただける最適な治療を選択していきます」と佐々木院長。そうしたことが可能なのも、専門医としての知識を生かし、患者さんの残腎機能に応じた透析の治療計画を立てることができるからだといえる。

**自分や家族が患者になった時に
通いたい病院を目指す**

透析患者さんの死因の1位と2位は感染症と心不全だが、感染症

増悪を認めても無症状なことが多く、レントゲンや心電図だけではなかなかわからないと報告されている。「当院では、超音波

検査に加え、緊急時に院内で血液検査を行うことができます。わずかな異変でも生じた際には、院内で気軽に血液検査ができれば、感染症や心不全などの合併症の早期発見と早期治療に役立ちます」

佐々木クリニックでは、2017年4月からオーバーナイトの透析も開始する予定だ。オーバーナイト透析とは、夜間寝ている間に透析ができ、翌朝、社会復帰することができると治療だ。「自分や家族が患者になった時に通いたい病院を目指しています。オーバーナイト透析も、その一環です。透析の患者さんとは、何十年とお付き合いすることも少なくありません。来院される患者さんには、質の良い長生きができるようにお手伝いをしたいと思っています」と佐々木院長は抱負を語った。



佐々木 公一 院長

ささき・こういち
2006年、福岡大学医学部卒業。同年、大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学入局。りんくう総合医療センター腎臓内科医員を経て、JCHO大阪病院（旧大阪厚生年金病院）腎臓内科医長。16年、佐々木クリニック院長。
日本腎臓学会認定腎臓専門医、日本透析医学会認定透析専門医、日本内科学会認定総合内科専門医